



熱中症に要注意!!



本格的な夏を前に、日に日に気温が上昇しています。加えて湿度も高くなり、少し体を動かただけで息苦しさを感じることもあります。学校では、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、活動を控えるなどの対応をすることもあります。また、マスクを着用していると熱中症のリスクが高まりますので、マスクを外すように声を掛ける場合もあります。自身でも、普段から軽い運動をするなどして暑さに慣れるとともに、こまめに水分や塩分を補給したり、汗をこまめに拭いたり、屋外では帽子を着用したりするなどして、予防を心掛けましょう。

本校での具体的な「熱中症予防と対応について」をホームページに掲載しましたので、参考にしてください。

WEB-QU（学校生活アンケート）の実施について

名古屋市では、市内全小・中学校において、児童生徒一人一人の心の状態を把握し、いじめや不登校の未然防止などに向けた取組に生かすために、年間2回学校生活アンケート(WEB-QU)を実施しています。



このアンケート結果を基に、子どもたちが中学校生活をより楽しく健やかに送ることができるよう働き掛けていきます。先日実施した第1回目の結果を、本日、配付しました。ご家庭でもお子様と一緒にご覧いただき、今後の生活の参考にしてください。また、何か気になる点がございましたら、学校までご連絡ください。なお、第2回は10月に実施する予定です。

SNS 報告相談アプリ『STANDBY（スタンド・バイ）』について

名古屋市教育委員会では、子どもたちが抱えるいじめ等の悩みに対応することをねらいに、SNS 報告相談アプリ「STANDBY」を、令和4年度より市立学校に在籍する全ての小学校4年生から高校3年生までの児童生徒を対象に導入しています。特徴は以下のとおりです。



- 子どもたちは匿名で報告や相談ができます。その際、相談者の学校名や学年は把握しています。
- 相談窓口の相談員（臨床心理士など）とは、チャット形式でのやり取りとなります。相談員が丁寧に話を聞きながら、悩みの解消を目指していきます。
- いじめに限らず、どのような悩みでも相談することができます。
- いじめ被害の相談はもちろん、周囲でいじめを発見した子どもたちが報告することもできます。その際、画像や動画などを添付することもできます。

学習用タブレット端末も活用しますので、全ての子どもたちが相談可能となります。個人のスマートフォンやパソコン等からでも報告や相談ができます。なお、1年生は、テストメールを送信する体験活動を実施しました。

教育実習について

5月19日(月)から5月30日(金)までの2週間、12名の実習生を迎えて教育実習が行われました。教科は、国語、社会、数学、理科、英語、保健体育、美術です。授業はもちろんですが、学級や学年の活動、放課



後の部活動などにも参加し、生徒の皆さんと活動しまし

た。実習生の皆さんは、将来の教職を目指して、限られた期間の中で一杯の実践経験を積もうと、とても意欲的でした。生徒の皆さんも、短い期間でしたが、様々な機会を利用して積極的に関わることができたようです。

次号に、実習生のみなさんのメッセージを掲載しますので、楽しみに。



転入生交流会について



本校は、転勤などの理由で転出入の生徒が非常に多い学校です。そこで、毎年、新しい環境で不安になりがちな転入生たちが集まり、ゲームや対話を通して交流を深めています。今年度も、5月26日(月)の授業後に、第1回目の転入生交流会を行いました。1年生から3年生まで15名の参加者がグループワークや対話を楽しみました。



最初に全体で自己紹介をし、その後5人ずつのグループに分かれて活動しました。グループワークでは始めに、『ひたすらじゃんけん』という、グループ内でできるだけたくさんの人とじゃんけんを繰り返して、何回勝ったかを競いました。初めて参加する人も多かったため、自己紹介の時には固さも見られましたが、単純にひたすらじゃんけんを繰り返して、勝ち負けに一喜一憂することで、どんどん固さがほぐれ、楽しそうにはしゃぐ様子が見られるようになりました。

次の、全員のあいこがそろうまでじゃんけんし続ける『ぴつたりじゃんけん』では、なかなかそろわないジレンマと闘いながら、どんどん「じゃんけん ぼん！」の掛け声も大きくなり、そろった瞬間は喜びを爆発させていました。続けて、複数人が指で1から5の数字を示し、合計7になるようにする『ラッキー7じゃんけん』を行いました。グループを解体し、2人一組、4人一組、6人一組、8人一組の順で行いましたが、人数が多くなるにつれ、7でそろえることが難しくなるので、そろった時の喜びは大爆発でした。次に、グループで「実は〇〇が好きな…」というように自分が好きなものを紹介しながら自己紹介して、「僕も」「私も」と好きなものにつながっていく『〇〇好き つながり』では、「えーそうなの?」「そう見えな一い」「あー、私も!」といったように、大きな声で伸び伸びと自己表現する姿が見られました。最後に、リサイクルペーパーをびりびりに破いたものを渡し、グループで協力しながらジグソーパズルのように元通りの一枚にそろえていく、『リサイクルペーパービルディング選手権』では、5人が知恵を働かせ協力しながら破られた用紙を競い合って復元させていました。見事に復元したときの満足感に満ちあふれた笑顔が印象的でした。



交流会を通して、自分と同じような不安や悩みを抱えている人は一人ではないこと、自分の思いを伝えることでつながりができていくことを実感できたのではないのでしょうか。本校では、これからも、一人一人の心に寄り添えるような取組を続けてまいります。